

令和3年度第2回狭山市スポーツ推進審議会（書面開催）会議結果

令和3年度第2回狭山市スポーツ推進審議会について、新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少が現段階においても見込めないことから、拡大防止の観点より、一堂に会しての対面による会議の開催を抑制するために、書面での開催となりました。

期間 令和4年3月8日（火）書面による審議依頼
（令和4年3月25日（金）回答期限）

議題

- （1）令和3年度社会体育関連事業実施状況
- （2）令和4年度社会体育関連事業計画（案）について

回答委員：池森会長、小澤副会長、木谷委員、新井（勝）委員、伊藤委員、鈴木委員、星委員、村川委員、八重樫委員、新井（忠）委員

議題

- （1）令和3年度社会体育関連事業実施状況について

【書面での意見】

- ・コロナ禍ということで仕方ないと思いました。
個人的に一市民として「初心者ゴルフ協会」に初参加し、指導してくれた先生も熱心に丁寧に教えてくれてゴルフが好きになりました。たくさんの方に、私のような経験を味わって欲しいと思いました。
- ・コロナ感染が収まらない中、計画されていた事業が12教室も出来た事はスタッフ方々のご尽力のおかげだと思います。その中でも、子供にフォーカスされている事業（体力テスト、かけっこ）は中止という終わり方でなく、ワンポイントアドバイスという形で提案できたという事は、次のステップになっていくと思います。やはり子供達を取り巻く環境は子供の体力向上を妨げる要因が増えているので、アクティブチャイルドプログラムのような、家庭内で実践できる事を取り入れた事は良かったと思います。
- ・各事業についてコロナ拡大防止の観点から、実施した事業、中止した事業ありましたが、止む無しと判断します。
- ・新型コロナウイルス感染症と向き合いはじめて3年目になり、昨年度より少し実施できる行事が増えている事は喜ばしい事だと思います。
コロナ禍の講師の派遣協力が得られなくても自由参加でスポーツするきっかけづくりの場として開場したり、親子で楽しめる体操や遊びを学べたり少しずつ工夫されて開催できている教室が増えていると思います。
早く、参加人数が多数となる市民ゴルフ大会やクロスカントリー大会なども開催できる日常が戻

る事を心から願っております。

- ・卓球の講師が来られなくなった際に、中止ではなく自由参加型教室として開放したとの事で、臨機応変な対応が素晴らしいと思いました。
- ・コロナ禍で感染対策をされての教室開催や、止む無く中止されたものもあり、大変苦勞されたと思います。その中で、親子向け事業として新規教室として開催したアクティブチャイルドプログラムは好評であったとなっておりますが、広報以外にPRはどのようにしたのか。定員目標10組に対して19名はどうだったのか。

→ (事務局より)

コロナ禍の状況を見ながら教室開催準備を行いましたが、感染状況により中止になる可能性もあったため、積極的な周知は行っておりません。広報誌、ホームページの他、会場となる中央公民館 総合子育て支援センター、市内に4館ある児童館にチラシを置きました。

定員親子10組を2回開催の予定でしたが、実際は半分ほどの参加となりました。密を避け、感染症対策を取りながら、体を使った親子遊びを楽しむ内容で、会場を広く使うことができたため子供達は動き回っていました。結果、参加人数と会場の広さが適切であったことが分かりましたので、次回開催では会場の広さを鑑みながら定員を設定します。

- ・日本の武道剣道精神の体験で、まなぶのは良いことだと思います。
- ・中止となった「体力テスト向上」及び「かけっこ教室」の申込者に配布したワンポイントアドバイスのどの程度参考になっていますか。

→ (事務局より)

アドバイス送付後のアンケート等を取ることはできませんので、来年度教室にアドバイスを送付した参加者がいましたら確認したいと考えます。

- ・今年度もコロナ禍での事業実施に際しましては、大変なご苦勞の一年であったと思います。大変お疲れ様でした。

今年度も参加者の安全を考えると開催できなかった事業もありましたが、そんな中でも、なんとか出来るよう思考、工夫をして開催が実現した事業、参加者にも喜んでいただけた事業があった事は、大変素晴らしい事と思います。

来年度も安全対策をしっかりと行いながら、多くの事業の開催が実現することを期待しております。

・2年目とはいえ準備を含めてコロナ禍での実施は大変だったと思います。有難うございました。その中でも2年度に中止になった事業が多少なりとも開催されたこと、また新規事業が開催されたことは良かったです。

スポーツ行事は教室とは違う楽しみがあると思うので多くが開催されて良かったです。連携協定事業は子供達が経験することでスポーツにより関心を持つようになると思います。

・コロナ禍の中で12教室を開催し、実施においては様々なご苦勞があったことと思います。また、中止した中でも工夫して運動への行動に繋げる試みをされていることに頭が下がります。継続したことが次に繋がることを期待しております。

議題

(2) 令和4年度社会体育関連事業計画(案)について

【書面での意見】

- ・一日も早く新型コロナが収束し、スポーツ事業が実施できることを祈っています。
- ・今後の行方は分かりませんが、良いと思います。
「ラクロス体験」、「ラクロス教室」と二つに分けたことも良いアイデアだと思いました。
家政大、文理大と地元の大学がたくさん開催してくれることは、とても良いことだと思います。
- ・私は剣道をしているので、新武道館が完成し楽しみにしています。特に、冷暖房が完備されました。剣道は、年に1回、初～2段審査(300名以上の受審者)、年2回の大会、年3回の級審査を智光山の体育館で開催しますが冷暖房設備がないので体調を崩してしまう人も出てきてしまいます。そちらの設備も考えて頂きたいと思います。
- ・計画されている事業はどれも充実した内容の教室なので、無事に実施できれば…と思います。新武道館も完成したので、柔道だけでなく、他の武道も皆様に体験できる教室が出来たら…とも思います。
- ・コロナの状況を確認しながら4年度においても事業を進めていけばよい。
- ・継続する事業や見送る事業がある中で、新規事業の「パルクール教室」とか、オリンピックパラリンピック教育「あすチャレ！」事業などは、児童生徒がたくさん興味を持って参加してくれると良いなと思います。
- ・コロナ禍において、「引きこもり」が様々な心身の問題を引き起こしている事が懸念されています。日本のスポーツイベントにおいて、今年(3月)東京マラソン(参加ランナー25,000人)が無事に開催できたことは明るい材料だと思います。
様々な制限・制約があるとは思いますが、狭山市内においてもスポーツ行事が一つでも多く実施され、一人でも多くの方の健康増進に役立つ事を願っています。
- ・令和3年度に計画されて実施できなかった子どもスポーツ体験教室やwithマスクで楽しめる軽スポーツが実施できることを期待しています。
- ・アクティブチャイルドプログラムは親子向けと、クラブチーム向けに。また、スポーツボランティア育成プログラムにも取り入れられてはどうか。

→(事務局より)

今年度教室参加対象者は3歳から小学校低学年とその保護者としていましたが、子供の年齢により飽きたり参加が難しい内容のものもありました。年齢に適した内容とすることを目的に、対象を3歳から未就学児とすることで検討しています。また、普段このような教室に参加する機会の少ない親子を対象とすることを目的としているため、クラブチーム向けの開催は予定しておりません。スポーツボランティア育成プログラムへの取り入れについては、アクティブチャイルドプログラム研修が日本スポーツ協会で行っている研修であるため、現在、市で取り入れることは検討しておりません。

- ・時間訂正→令和4年度事業計画(案)の◆教室「ランニングクリニック」の時間帯10:00～11:30となっていますが9:30～11:30では。

→（事務局より）

「ランニングクリニック」はクロスカントリー大会のコースを走ることを目的としておりましたが、来年度は開催時間も含め、規模の縮小を検討しております。

・事業計画（案）につきましては、特に意見はございません。

多くの事業が安全に推進され実現できるよう期待しております。

・教室の種目を精査して15種目になり、内容も幅広く悪くありません。が、昨年度中止になった卓球教室を回数減らして実施する、または1回でもいいので親子参加型で実施することを検討いたします。卓球だけでなく弓道や他の種目で、対象外となった理由を知りたいです。

→（事務局より）

「卓球」は講師不在ではありましたが、開放教室として13名の申込者が参加しました。平日午前の開催時間であったため、一般の方の参加でありましたが、親子向け教室の開催が少ない中、親子参加型は良いご指摘を頂きましたので、今後の教室開催に向け、検討してまいります。

教室開催については、個人では体験が難しい種目について、広く体験の場を提供することを目的としておりますが、コロナ禍において、開催が困難であった種目、感染症の不安から参加者が参加を見送られることがあった教室、また来年度の職員体制から、開催教室を検討したものであります。

・コロナ禍での生活が3年目になりました。今年こそより通常の形で開催されることを願います。

・まん延防止等重点措置が終了したとはいえ、まだまだ感染者数が多く、特に10代への対策が十分とは言えない中で次年度に進む訳ですが、新武道館の完成、「あすチャレ」事業など明るいニュースもあります。またまだ不安な状況が続くことが予想されますが、まずは少しずつでも事業が軌道に乗ることを期待しております。

【委員より参考】

※4 ページの・その他（スポーツ推進委員連絡協議会）のボッチャ講習会、ボッチャ指導について以前、狭山市は近隣他市に比較して障がい者スポーツがほとんど実施されてなかった。埼玉県障がい者スポーツ指導者協議会県西南部地域支援連絡会より呼びかけ連携協力し、障がい者スポーツの推進に取り組んで来てる経緯があったが、今回の4事業においてはそれがなかった。協働構築を継続したいのでよろしくお願いします。

→（事務局より）

障がい者スポーツについては、障害者福祉課により、官（協働自治推進課、スポーツ振興課、新狭山公民館）、民（茶の花福祉会 大樹の家）と協力し、行政提案型協働事業としてボッチャ教室を実施しました。市の行政提案型協働事業として実施しているため、埼玉県障がい者スポーツ指導者協議会県西南部地域支援連絡会と連携協力を取ることは想定しておりませんでした。今後、障害者福祉課担当者と協議を進めてまいります。

會議資料

- ・令和3年度社会体育関連事業実施状況
- ・令和4年度社会体育関連事業計画（案）